

さて、いずれにしても若い世代の投票率向上に特効薬はないとされる場所であるが、やはり学校教育において民主主義の仕組み、選挙の重要性を認識させることに勝る方策はないのではないかと。また、先般国会にて成立した国民投票法において、有権者年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられることとなり、仮定の話ではあるが、現在中学校に在学中の生徒がその最初の適用になることも考えられる。このような状況下、学校教育において政治参加・選挙の重要性を生徒児童に認識させることの重要性がますます高まるかと考えるが、担当部局の所見は。また、選挙年齢の引き下げに対し、学校教育においてどのように対処・指導する予定か、あわせて回答を求めらる。

A. 学校教育部長

教育委員会としても議会制民主主義における選挙の重要性は深く認識している。社会科の学習の中で、「模擬選挙」の体験や、副読本の活用などにより理解を深めさせている。また、最近の選挙で棄権が増えていることに気付かせ、その背景や対策について考えさせることにより、政治参加への意識や態度の育成を図っている。

国民投票法の成立により、有権者年齢が 18 歳へ引き下げられることとなるが、学習指導要領が改訂されるとも聞いており、今後、各学校へ指導してまいりたい。

◎ひとこと

・・・初の一般質問登壇でしたが、なんとか無事に終わることができました。終了時には異例にも、野党席含め拍手をいただくなど、先輩議員からは一定の評価をいただけたようで安堵しています。

質問の様子は市議会のホームページで録画放映されていますので、お時間のあるときにぜひ一度ご覧ください。議会の雰囲気により身近に伝わるとおもいます。(発言全文も後日議事録として公開されます)

□ 3,457 票の重み

去る 4 月 22 日、船橋市議会議員選挙の投開票が行われました。私は無所属・新人・最年少の候補として立候補いたしておりましたが、3,457 票ものご支持をいただき、50 名中 16 位という自身思ってもみなかった得票にて市議会へお送りいただくこととなりました。

開票の瞬間、深夜の選挙事務所で感じていたのは嬉しさでも安堵でもなく、むしろ恐れにも似た緊張でした。3,457 名の方が投票所へ足を運んでいただき、自分の名前を書いていただいたということ、その皆様が私に託したものの大きさを思うとき、今でもなお体の震える思いがいたします。この初心を決して忘れることなく、市民の負託を受けた代弁者としてこれからも活動を続けて参りたいと考えています。どうぞ皆様からのご意見・ご指摘を賜りますようお願いいたします。



(写真：当選の瞬間 滝口後援会長と)

■ 議会の構成決まる 議長選挙は保守分裂 会派「市政会」に所属、市民環境経済委員会委員を拝命

去る 5 月 21 日～ 22 日に臨時会が開催され、議長・副議長が選出されたほか、各委員会の割り振りが決定しました。また、それに先立ち新しい会派構成が下記のように決定しています。(私は保守系会派「市政会」に所属しています)

(平成 19 年 7 月現在、数字は所属議員数)

市政会	リベラル	かがやき	新風	公明党	民主党	市民社会ネット	共産党
13	3	5	4	10	3	4	8

← 保守系 (あくまで目安ですが) 革新系 →

議長選挙にあたり、上表左側の保守系 4 会派では統一候補の話合いがまとまらずに保守分裂の選挙となり、市政初の公明党所属議長の誕生となりました。あわせて決定される各役職の割り振りも含め、長時間にわたる話し合いが会派代表者間で行われた結果、両日ともに 22 時過ぎまで議会にカンヅメになるなど、新人議員にとってはなんとも驚きの幕開けでもありました。(過去には徹夜になったとも・・・) 私は市民環境経済委員会に所属することになりましたが、与えられた役職に対し、誠心誠意取り組んでいく覚悟です。

□ 6 月議会報告

6 月議会では、細かな条例改正を中心に 9 つの議案が市から提出され、いずれも賛成多数で可決されました。主なものとして、耐震偽装事件の対応のため、千葉県建設技術センターに市職員を派遣するための条例改正や、医療センターでの治療に伴う損害賠償請求の和解 (300 万円の支払い) の専決処分承認などがありました。

また、監査委員による定期監査報告、および市が関係する法人・団体の経営状況報告とそれに対する質疑も行われました。

各議案に対する各会派の賛否や議決結果一覧は 7 月 25 日発行の「市議会だより」に詳細が掲載されていますのであわせてご確認ください。